

FMくしろ「市役所からこんにちは」資料（令和4年12月放送分）

放送日 令和4年12月19日（月曜日）午前10時5分～10時20分

（はじめに）今年1年を振り返って

【質問：エフエムくしろ パーソナリティー】

今日は、令和4年最後の「市役所からこんにちは」となりますので、今年1年を振り返って、特に印象深いものがございますか。

【回答：市長】

まず防災面では、令和4年3月に、最大クラスの津波の高さである「基準水位」が北海道より公表されました。

この基準水位を基に、新たな一時避難場所の確保を進めてきました。

また、7月には津波による被害想定も公表され、早期避難や一時避難場所の確保などの対策をしっかりと進めることで、被害を軽減させることが出来ることも示されたところです。

このような動きの中、6月に日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の特措法が改正・施行され、9月には特に津波対策が必要な地域として「津波避難対策特別強化地域」に指定されました。

これにより、国からの支援拡充も得られることから、避難機能を備えた複合ビルの建設や既存施設を活用した一時避難場所の確保など、津波対策をしっかりと進めていきます。

また、昨年7月に策定しました「釧路市デジタル・トランスフォーメーション推進方針」におきまして、「スマートフォンの中に市役所がある」という基本理念のもと、様々な取組をスタートさせました。

内容としましては、本年2月にLINEの公式アカウントが運用開始となり、9月には釧路市公式ホームページのリニューアル及び電子申請サービスを開始しました。

スマートフォン教室では1,200の枠に対し、1,500の申し込みがあり、参加者のアンケートにおいても大変好評を得たところであり、来年追加での開催を準備しているところであります。

環境に関しましては、2050年カーボンニュートラルの実現や、循環型社会の形成に向けての取り組みを進めました。

3月18日には阿寒摩周国立公園が道内で最初に環境省のゼロカーボンパークに登録され、7月14日には釧路湿原国立公園が道内で3番目にゼロカーボンパークに登録されました。

また、株式会社JEPLAN(ジェプラン)と連携協定を結び、今年4月から市内で生じる使用済ペットボトルを、新たにペットボトルとしてリサイクルする「ボトル to ボトル」の取り組みをスタートしました。

【話題1へ】

（話題1） 新たな津波一時避難場所の指定について

【質問：エフエムくしろ パーソナリティー】

今月は市長、どのようなお話しでしょうか？

【回答：市長】

新たな津波一時避難場所を指定しましたので、みなさまにご報告いたします。

この度、40の施設（11, 461名分）につきまして、新たに津波一時避難場所として指定することができましたので、施設名と住所、建物内の避難箇所を表記した形で、12月2日にホームページ等でみなさまにお知らせしたところでございます。

施設所有者の皆様方におかれましては、多大なるご理解とご協力をいただいたところであり、心より感謝申し上げます。

このたび、新たに指定いたしました施設は、橋南地区（2カ所）、橋北地区（1カ所）、鉄北地区（13カ所）、愛国地区（2カ所）、鳥取地区（11カ所）、大楽毛地区（9カ所）、音別地区（2カ所）になります。施設住所などの詳細は、市のホームページでご確認ください。

今回の指定によりまして、指定済みの113カ所と合わせ、釧路市の津波一時避難場所は153カ所となり、さらに、現在も30以上の施設と交渉を行っているところであります。

また、1月下旬を目途にWEBハザードマップの更新を行い、今回の40カ所はもとより、新たに指定した施設も随時追加するなど、最新の情報を公開してまいりたいと考えております。

【話題2へ】

（話題2）「阿寒湖温泉プロジェクションマッピング・ナイト」について

【質問：エフエムくしろ パーソナリティー】

続きまして、皆さんにお知らせしたいことはございますか？

【回答：市長】

続いて、阿寒湖温泉の新しいイベントの紹介となります。

新イベントは「阿寒湖温泉プロジェクションマッピング・ナイト」と言いまして、明日20日（火曜日）から来年の3月31日（金曜日）まで、毎晩開催されます。

阿寒湖温泉内にある①鶴雅ウイングス、②ホテル御前水、③阿寒湖まりむ館、④阿寒湖まりも足湯「ウレ・カリプ」、⑤ホテル阿寒湖荘の5つの施設それぞれに、阿寒湖に生息する動物やアイヌ文様、自然景観などを投影し、夜の温泉街をきらびやかに^{いろど}彩るものとなっています。

このプロジェクションマッピング投影に合わせて、商店街でキャンペーンが実施されます。

5か所すべてのマッピングの写真を協力店で見せいただくと、もれなくプレゼントがもらえます。

このキャンペーンのほか、別の企画の追加も計画されておりますので、詳細は阿寒観光協会まちづくり推進機構のフェイスブックやインスタグラムでご確認ください。

大人やお子さんなど、どの世代も楽しめるイベントになっていますので、ぜひ、皆さんに冬の阿寒湖温泉へ来ていただいて、この新しいイベントを体験していただきたいと思います。

【話題3へ】

（話題3） バーナビー市との「ゆのみプロジェクト」について

【質問：エフエムくしろ パーソナリティー】

最後に市長、どのようなお話しでしょうか？

【回答：市長】

次に「ゆのみプロジェクト」について、ご紹介いたします。

釧路市は、カナダのバーナビー市と1965年9月に姉妹都市提携を結び、これまで市民訪問団を派遣し合うなど、相互にさまざまな交流を図ってきたところでございます。

しかしながら、皆様ご存知のとおり、世界中が新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受け、バーナビー市との相互訪問交流についても実施が困難になるなど、姉妹都市交流事業においても影響が出始めてきておりました。

そのような中、バーナビー市側から、両市の陶芸愛好家が制作した陶芸作品「湯呑（ゆのみ）」を贈り合う「ゆのみプロジェクト」についての提案があり、本市としても快諾させていただき、現在、両市の間で、このプロジェクトを進行中でございます。

プロジェクトの名称は、日本語の「湯呑（ゆのみ）」と英語の「You Know Me（ユー ノウ ミー／あなたは私を知っている）」をかけたプロジェクト名となっております。

さて、去る11月13日には、私、それからバーナビー市のマイク・ハーリー市長、両市の陶芸愛好家、釧路市からは北陽高校の英語同好会と美術部の生徒たちも出席し、両市の間で初めてとなる「オンライン交流会」を開催したところです。

また、オンライン交流会後の11月17日に、バーナビー市の陶芸愛好家が制作した「湯呑（ゆのみ）」が太平洋を越えて無事に本市に到着し、今後は、釧路市の陶芸愛好家が制作した「湯呑（ゆのみ）」をバーナビー市側に発送する予定となっております。

なお、来年の1月23日（月曜日）から27日（金曜日）まで、この度バーナビー市から届いた湯呑（ゆのみ）20作品を釧路市役所本庁舎1階の展示スペースに展示しますので、市民の皆様にも、ぜひ足をお運びいただければと考えております。